

2023年12月26日

静岡市長 難波喬司 様

日本共産党静岡市議会議員団
団長 内田隆典

危機管理総室職員の退休職等に係る実態調査と公表について（申し入れ）

日頃から、市民生活の向上に尽力されていることに対し敬意を表します。

さて、2023年12月23日付けの静岡新聞において「静岡市職員退休職相次ぐ」
との見出しで、危機管理総室での退職や業務を理由とした病気休暇取得が相次
いでいることや複数職員がハラスメント行為を訴えていること等が報道されま
した。

一方、今年度の静岡市人事委員会による「職員の給与等に関する報告及び勧告」
では、ハラスメント対策の推進として、「職場におけるハラスメントは、職員の
尊厳を傷つけ、職員個人の能力発揮を妨げることや心身の健康を害することに
つながるだけでなく、職場における信頼関係の悪化や、職員の士気の低下など、
組織パフォーマンスを低下させる要因となる」と指摘し、特にパワーハラスメン
トについて人事当局に対応を求めています。

以上のことから、今回の報道事案は、職員の問題にとどまらず、市民の命と財
産を守る危機管理行政にとって大きな問題であると考えます。

については、事態の重大さに鑑み、緊急ではありますが、危機管理総室職員の退
休職等に係る実態調査と公表について、下記のとおり申し入れます。

記

- 1 危機管理総室における職員の退休職等について、実態調査によりその原
因等を明らかにし、公表すること。
- 2 なお、実態調査にあたっては、以下の内容について明らかにすること。
 - (1) パワーハラスメントの実態について
 - (2) 時間外勤務の実態と、時間外勤務命令（申請）の取扱い及び支給実
績について
 - (3) ハラスメントに関する職員の相談体制及び当局の対応について
 - (4) 職員の業務量と人員配置の状況について